

令和6年第7回教育委員会定例会 会議録

日 時 令和6年7月30日(火曜日)午後1時30分～午後2時49分

場 所 北栄町役場 第1委員会室

出席者 笠見隆志教育長、徳岡幸裕委員、竹信純一委員、岡崎しづみ委員、津島望委員

説明等の出席者 松本教育総務課長、渡辺生涯学習課長、田中図書館長、松尾中央公民館長、
山口指導主事、福田室長、崔 SSW

(開会) 午後1時30分

教育長 第7回教育委員会定例会を始めます。
2 会議録署名委員の指名をお願いします。

事務局 徳岡代理と竹信委員をお願いします。

教育長 3 行政報告に移ります。
(資料にて説明)
行政報告は以上です。質疑応答に移りたいと思います。
まず教育長報告で何かご意見・質問はございますか。

竹信委員 7月22日GIGAスクール総会設立の意図と、今後どういうふうな方向に進むというようなどころはどういうあれですか、総会が設立されたというねらいはなんですか。

事務局 こちらにつきましては今学校で使っておりますiPad、タブレット端末が来年度早いもので5年目を迎えます。更新していかなければならないのですが、更新につきましては国の補助金なんですけども、県での共同購入のみ補助金がつくという制度設計になっています。というところで、県全体でこのGIGAスクール推進協議会を設立しまして、県内市町村のタブレット端末の更新ですとかそういったものについての協議を進めながら共同購入をしていくというようなところで、7月22日が第一回目の推進協議会ということで設立され、これから協議を進めていくというような状況でございます。北栄町の状況からいいますと、事務局としてはできれば5年で更新していかないといけないのではないかと、やはり壊れていつている端末とかもありますし、というようことを考えているところでございます。この協議会の中で話し合いをしていながら、来年度以降早い段階で更新をしていきたいなど、もちろん予算確保していきながらということになりますけど、というようことを考えているというところでございます。

竹信委員 そうするとこの構想が出てきたときに、ある時期5年を目途にしてそのあと保護者負担でその費用を購入しようかというような方向も検討されて、どういうふうにされるのかははっきりしなかったのは、結局は町が助成金があって保護者負担のないという方向で進めているということで。

事務局 そうですね、今後についてはまだ分からないですが、次回更新については国の方が補助金を出すように制度設計をしておりますので、それを活用しながら町の方で更新していくというふうを考えております。

竹信委員 分かりました。

教育長 その他、よろしいですか。
では、教育総務課の内容につきまして、ご質問等ありますか。

竹信委員 問題行動・いじめのところですか。授業エスケープがあるんですけど、その1学期というか1回目の計画訪問に行かせていただいたときに、昨年度よりは若干落ち着いてきつつあるんじゃないかと思うんですけど、実際の状況はどういうふうな状況になっているのかというのが、授業参観・計画訪問の時だけでなく、だいたい日々どうなっているのか。で、職員・学校の中だけの体制で対応できているのか、いやPTAにも協力いただいているとか、そのあたり教育委員会がどうい

ふう現場を把握して、相談に乗ったりというふうなところがなくて本当に現場が困っているかもどうかわからないという。どういうふうな状況か教えていただけませんか。

事務局

はい、説明します。エスケープがここ数年あがっているのですが、離室をしてしまう児童が何人かあるということで、6月だとこのメンバー、この人数があがっています。ただずっと1時間中どこかうろろしているかというそういう訳ではなく、校長先生だったり級外の先生が対応されて話を聞いたりとかそういった対応を取っておられます。今のところ学校の先生方、級外の先生方と中心に対応しておられるというのが現状です。ときどき様子を見に行かせていただいているのですが、昨年度ほど手を焼いておられるというか、そういった状況ではないように見受けられます。学校の方からもときどき見に来てくださいということと言われるのですが、去年のように交代交代で見に出かけたりというようなことは今年はありません。

徳岡委員

保護者さんは入ってないですか。

事務局

はい、保護者さんは入っておられません。1学期は。去年は保護者会を開きまして保護者の方にも交代で見に来てくださいというようなことを言っておられたのですが、今年度の1学期はそのような状況はないです。

竹信委員

昨年度今の2年生の子どもさんですけど、ずーっと1時間中離席しているじゃないですか、計画訪問の時にね。黒板の前に来たり先生のところに来たり、廊下に出たり。でも注意をされない、されないというか色々あってそういう対応だということの捉えだと、それはやっぱりほかの子どもたちは見ているし参観日であっても変わらないだろう、変わらなかったらと思うんですけど、そういうのが「えっ…」って思う保護者とのね、保護者と先生の信頼関係ってできていくんだろうかと、こういう対応の在り方でいいんだろうかと思ったんです去年は。でその後がなかなか落ち着かなくて、まあ今年は座っていたかな・・というふうには思うんですけど、けどそのそういうことがあって「見過ごしている」ということは、先生は考えがあっただけど、子どもたちは分からないですよ、言っただけですけども。1時間席を離れて好きなことやってうろろして注意もされない、座れとも言われぬ、というような対応が毎日続いているのなら、他の子どもたちは、「えーあの子はなんで許されるの」というふうに捉えてしまうんじゃないかと思うんですよ。保護者も当然そういうふう考えられる保護者も出てくる。そうするとちゃんと対応としてはこうなんだよということを、保護者に学校として説明がされているのかどうかを含めて、当然子どもさんのことだけではない問題なので、参観日であってもそういうふうな理解をしていただきたいということを、詰めておられるのかなというふうなことを思っちゃいますよ。去年は中学校になりましたけども、6年生の授業を見たときには後ろを向いて足を上げていたかな、ぜんぜん教科書も机に置いていないという状況だったというのを私覚えているんですけども、それを認めているというふうにとらえたくはないけど認めちゃっているんですよ。周りの子どもが「これで許されているんだ」とかね。先生が時々声をかけられるかもしれないけども、計画訪問のわずかな時間だけでも、ひとことふたこともなかったように思うんですけども、そういうこと自体をこれがだんだんと広がる可能性があることを踏まえて危機感を持って、どう対応していくかというところをやっていかんといけぬかということはずっと思っているんです。今年度はちょっと良くなって昨年度ほど手を焼いていません、ときどき見に来て下さい…それもいいんですけどそれで済まんような気がして。その子も親もどういふふうな思いなのかも多分先生しっかり聞いておられると思うんですけども、それを上手に伝えないといけぬんだけども、なんかちぐはぐな指導だったりになっちゃうんじゃないかというふうにな。しかも授業エスケープがあるというのは、ただおもしろくないからとかだけではなくて、何で離席をしてしまうのか、「この子に問題がある」だけじゃなくて、友達との関係性はどうか、もう少

し話を聞いてやりながら関わらせていくようなこととか、それもできないのかとかね、色々と思うんですけど。本当に指導主事さんあたりも足を運ばれてアドバイスされたり一緒に考えられたりされていると思うんだけど、本当に手を焼いていないからときどき見てくださいだけでいいのかなというふうだね。これが変わるんだったらいいですよ。ただこういうことって多分これから何年も続くんですよ。これが広がったら今度は学級崩壊だなんだとバタバタとなっちゃうという。そういうことを非常に心配するし、落ち着いた学びができるような環境を作ってやるように、色んな方が入るのでやりとりしていかないといけないような気はするんですけど、私が心配しすぎなのかもしれないですけども。教育委員会としてはそういうことであれば別にいいんですけど。と思って、なんか協力を得て、こんなことを協力して欲しいこんなことを何とかして欲しいとか割り振りを決めて毎日でも交代交代でもこんなことをして欲しいと具体的なことがあれば、足を運んで何とかしてやらないけんし、PTAだって協力せないけんしね。なんかその辺が伝わってないというか。危機感というか、それがずっと気になっていてみなさんがどう考えられるか。僕はね、その手のことは何といたらいいか、学校の方は一生懸命やっているし、ひとクラス30名くらいいれば、そのひとりにかかりっきりもできないじゃないですか、他の生徒もいるわけだから。保護者の方はどう思っているのだろうか、子どもたちも学年が上がれば上がるほどちゃんと分かっていて関わらないという感覚になっていて、僕はそっちの方が・・・クラスの保護者の方からこれはマズイぞというような話があがってこないような気がするんですよ。

徳岡委員

そういうふうになんかだんだんとその子から離れていこうということ自体がよろしくない。

竹信委員

それは分かっているんです。

徳岡委員

竹信委員

そういうふうにならないように色々されているんだけど、それが発信されてこないから伝わってないんですよ。こういうところを協力してほしいとか、その子どもや親だけが悪いとかではなくてね、離れていって話をするのも嫌だとか、そういうこと自体がよろしくないんで。学校が悪い訳でなく、学校が「もっと協力してくださいよ！」とかそういうことを出してもらおうと…去年より手を焼くようなことが少ないので、それでいいのかというね。もうちょっと発信してもらいながら、協力は級外の先生なんかも出ていけば当然空き時間もなくなるし、そういうことは分かっているんですけどね。だからこそ保護者であるとか教育委員会の先生だとか色々なところに都合がつけばお願いできないだろうかとか、SSWさんにもお願いして保護者や子どもの色んな思いの聞き取りだとか、色々しておられると思うんだけど伝わってこないの。私らはその場の様子しか持ってないので、本当のところは正確ではなく正しくはないのだけど、その辺含めてしっかりやっていかないと、色んな人と関わってそういう子どもたちとも関わっていきながら、簡単には難しいですけども、何とか協力をしていただけるような。教育委員さんも交代で出てきてくださいよと言えば、どういう対応をすればいいですかとか、具体的にこういう対応をお願いしますよと、何かあったときには。それは協力しますのでぜひお願いしたいと思います。

徳岡委員

去年ね、北条小学校については行くたびに校長先生に「何かできることあったら言ってくださいね」と言っても何も言ってこないでしょ。確かに対応の仕方って竹信委員は先生だったので分かるかもしれないけど、僕らは対応がなかなか分からないじゃないですか。だから単純にそこに行ってやれないのもあるし。コミスクもあるじゃないですか、コミスクってそういう保護者の方もあるし本来であればコミスクも教育委員会も教育委員も一緒になってやっていかないと、学校だけに任せていてもいけんし、じゃ学校から発信があれば協力するよといてもなかなかその辺がうまく…そこが問題だと言えば問題なんですけども。なんかこうどっちが、学校の方から依頼するのが先なのか、こちらが押しかけて行くのが先なのかよく分からないんですけどね。でも確かに先生ひとりの目では足りない、本来先生の数を増やしていかなければならない、対応せえ対応

せえといっても色んな生徒がいるから、色んな30何人の生徒を先生ひとりが見ているということが、僕からすると無理だろうという思いがあって。その中でじゃあ30人の生徒にそれなりの1年間のものを指導していくとなったら、どこか切らざるを得んというところがあったのかなというイメージがあって。去年より良くなったという実感は確かにあって、それって相当がんばられたんだなという感覚でしかないんです。ほんとに協力できることならいくらでも協力してあげたいけど、それを具体的にこうしてくださいということもないといけんし、仮にこうしてくださいと言われたら僕は本当に冷静に対応していけるだろうかという自信がないし、そこに保護者が入ってくれるのが一番いいけど、それってやっぱりクラスの中とか保護者会で説明してかなきゃならないじゃないですか。そしたらそれにまたすごい時間がかかっちゃうのではないかなと思いますね。

竹信委員

ま、時間がかかろうが何しようが、とにかく今の状態で本当にいいのかどうか。私が話を聞いた限りでは授業エスケープがそのときだけなのか、どういう理由があったかの説明はなかったけどもね。そういうふうな離席をするという授業はおもしろくない、参加出来にくい、友達との関係性も上手いかい…それが何がそういうふうな、聞き取っておられると思うしそれに向けて保護者の協力も仰ごうという学校の中だけで色んな取り組みをしていこうという、すでに会を何回も持たれて積みあがってきていて個々に対応できる。去年はPTAを巻き込まないといけんかった、けど今年はいいですよというところの話し合いをずっとされてきている、そういう経過が分からない。具体的に言えば、PTAにどういうところで協力を得てどういうふうに関わっていったこの子はどういうふうに変わっていったのかというのが推移も経緯も分からないのですよ。授業エスケープについても兄弟関係かも分からないですけどもね。そういうことも含めてどういうふうな教育委員会も聞き取りをされて現場のどういう声を吸い上げられて、学校ではこういうふうな話し合いを持たれてきてこういうふうになってきていますよという、それが見えてこないから。その結果として協力したんだけど、それが発信されんということだったら、学校とそのあたりだけで収まるんだったらいいですよということを私は言っているんだけど。多分そうはならないと思います、聞いていて。だから思い切って学級あるいは学年保護者会を開いて、1年生から2年生はクラス替えしているんでしょ？そうしたらメンバーが違う訳でしょ、そしたらこの子どもさんが同じ子どもさんだったらその子が離席しているんでしょ？そしたら「えーこの子去年はこうだったの」と子どもも保護者も思う、そうしたら当然学年PTAも開かれなければと思うし、具体的に話し合いを持っていった周りの保護者も子どもたちもどうあるべきかがあったらいいかというところは理解して協力していくことは大事だと思うし、私たちも協力することは大事だと思うし、必要ないといえそうだけれども。

事務局

説明が上手くなく誤解を与えていたのなら申し訳ないです。去年ほど件数があがっていないのでそれを良しとしている訳ではもちろんないです、学校としては。現時点でそれぞれの子どもたちに対応されて今この状態で収まっているという感覚で校長先生等も捉えられていると思います。今がんばってこのままで抑えられているんだというところで、2学期以降のことも夏休み明けのこともいろいろ考えて対応しようとしておられますので、現時点で保護者・PTAの協力依頼がなかったというのでも確かなんですけども、2学期以降の状況によってはもしかしたらそういう状況になるのかもしれないですが、今のところは1学期間は学校の方でなんとか少人数であるとか、色々取り組んでがんばってこられての結果がこの数であるということで認識していただきたいなと思います。

竹信委員

ひとつだけ、この2年生・5年生・6年生は兄弟関係ではないですか。

事務局

兄弟関係であるかまでは把握していません。

岡崎委員 授業エスケープというのは、教室から出てしまうということですか、教室内をぐるぐるではなく教室の外ですか。

事務局 はい、外に出ています

岡崎委員 その出てしまったのを校長先生や級外の先生がちゃんと把握して話を聞いておられて、その子らが勝手に郊外に出てしまって最悪帰ってしまったりだとか、行方不明になって途中事故に遭いそうになったりということではないですよ。だからきちんと見ておられるということだから、仕方がないのかなというか。大栄小学校も同日参観日で見に行かせてもらいましたけど、自由にくるくる教室の中を歩いていて、あとで聞くと「彼はいつもあだから」と言って、でも私はちょっとクラスメイトの無関心さっていうのを感じてしまって、そっちの方が怖いなという。あの子はそういう子だからと、そういうふうに言ったんで私はむしろそっちのほうが怖いと思って聞いたんですけど。私は小学校って一生懸命やっておられるなって、こうして正直に数字も挙げてこられるし。実際に「協力してください」と言われても、カーッと出て行かれた子どもさんを「教育委員さんお願いします」と言われても、よく知らないおじさんお婆さんが走って行って「こちら」っていうのもなんかちょっとおかしなことだと思うしね。もうちょっと学校の様子を見てもいいのかなっていう気がしました。

教育長 5年生は6月に保護者をされたんですよ。これは去年、一昨年からの早い段階から状況を伝えるという意味合いだったと。具体的に保護者にこういうふうに動いてくださいということではなくて、早い段階で状況を伝えてと思って。

竹信委員 ここに人数が挙がっているのは、3人が1回だけ授業エスケープしたという捉えですか。

事務局 6月の分ですね、1日です、1日というか1回ですね。

竹信委員 1日の1時間という捉えですか。例えば理科の時間だけ3人が授業を受けずに校内の中のどこかに行っちゃべっていたというような捉えですか。

事務局 この5年生に関しては始業前という報告です。

竹信委員 6年生も1回だけ2人がという同じようなことですね。

事務局 6年生に関しては日付の記載はしていませんが、日常的にエスケープがあるという表現で挙がってきています。

津島委員 いいですか。北条小学校のまさに5年生に子どもがいるんですけども、こういう話を知りません、実は私は。この子かなって思うのは今までの蓄積的にいるのはいるんですけども、保護者として具体的にこの子がこうとかということは全然分からないし、そもそも保護者を集めて話をするとき、具体的にじゃあこの子がどうとかいう話をできる訳でもないと思うんですよ。過去に色々学校の方で問題があって学年的に問題があって、保護者として集まって話を聞かせてもらうという機会があったんですけど、やっぱりその中で、普段の様子を知っている親と初めて聞いたという親とすごい温度差があったりもするし、全く知らなかった親が「へーそんなことがあるんだ」というふうになっちゃうのがいいのか悪いのか…というのもよく分からなくて。実際こういうことがあります、これで困っていますという話のときに、その子の親が出て来るのが正解なのか来んのが正解なのかという話もあるし、保護者に説明するって学校からしたら難しいことだろうと思うんです。なので保護者としてなにかできるとしたら、やっぱり普段から自分の子どもに学校の様子を聞いてみるとか、そうやって学校のことを個別に関心を持って状況を聞いてみるというのが先ず最初に大事なのかなと思うので。学校としては色々としてくださっているし、その子の保護者さんもきっとコミュニケーションをとろうと、今までの経験上思うんですけど。結局そうじゃない当事者でない保護者にどういうふうにその問題認識を持っていただくかが大事なのかなと思うので。学級懇自体の参加者も増やしていくとか、なんかの工夫をしていかんといけんな

と保護者として思います。

教育長 ありがとうございます。それぞれご意見いただきましたが、今回はここまでにさせていただきます。教育総務課関係、他によろしいでしょうか。

それでは、生涯学習課の報告についてごしつもんある方お願いします。

岡崎委員 7月25日のほくほく食堂で、北条地区から5名だったですけど、どうやって来られるんですね、ボランティアさん、北条中さん含めて。おうちの方ですか。

事務局 ちょっとそこまでは把握していないんですけど、子どもについては恐らく送迎だと思いますし、中学生は…

教育長 ボランティアは自転車で来てるね。

岡崎委員 そうですか、はい分かりました。

徳岡委員 僕も同じことを聞こうと思っていたんですよ。子どもが北条から大栄って、ほくほくってあそこ離れているところですよ、バスもなにも。亀谷のこっち側のところで。で、ほくほく食堂って、孤食しない、ひとりで食事しないようになって、そういう思いもあってのことなんだろうけど、どうやって9時半までに来たんだろうって思ったり、どうやって2時になったら解散で帰っているんだろうっていう思いがあって。例えば普通の夏に預かってくれるところに行っちゃって、ほんと僕もこっちに行きたいと思っても、親が会社に行ってしまったらそっちに行く術がないじゃないですか。だからどうやって来ているのかなと思ったりしてね。例えばね、公民館祭りみたいなバスが廻っていましたね。そういうような感じで行きたい子は送迎するよって、そういうシステムになっていたのかなと思って、どうやって行ったのかなって気になって。今は親御さんが連れてきて、送り迎えした子が来ているということですね。

事務局 そうですね、そういうことですね。

事務局 ちなみにいいですか。以前自分の子どもが何年か前に行っていたときは、なかよし学級からバスが1回あったときもありました。今年は分からないですけど、親子送迎のときもありましたけど、北条のなかよし学級から確かマイクロバスが出ていてそれに乗って行って帰って、私は仕事が終わってからなかよしに迎えに行くということもあったと記憶があります。

徳岡委員 そのあいだを行って帰っていたという。

事務局 今5人なので、その当時はもう少し人数がいた気がしていますけど、そういうこともされていたと思います。

教育長 ごつつい雨が降った日だったなあと思って。

岡崎委員 あーそうでしたか、そんな日に北条から1名参加されたというのは、表彰ものだと思います。すごいですね。

教育長 その他ありませんか。(なし)

では図書館の内容ついてなにかありませんか。(なし)

では中央公民館について何かありませんか。(なし)

竹信委員 おもしろまなびタイムの米里と中央公民館が共催みたいな格好になったんですよ。これはどういう経緯だったのですか。これまで米里はずっと自分のところで管轄化していたように思うんですけど。合わせて共催になった場合には、例えば講師料が出るとかそういうことはありますか。

岡崎委員 よろしいですか、ちょっと関係をしているので。米里自治会の方から毎年中央公民館の方へ声をしてくださるんです。こういう計画ですよ、子どもたちにも声をしてくれというふうに呼びかけがあるんですよ。それでおもしろまなびタイムの1科目に加えさせてもらって共催という形で。それでそのときに、暑いときなので飲み物だとか、中前先生が来てくださるんですけど、そういう費用は全部米里が。たぶん農地保全の会だったと思うんです。

事務局 多分農地保全の会の方で田畑を運営するにあたっての補助金が国の方から出ますので、こういう活動をしなれないといけないので、その一環として米里地区がされていますし、公民館側は子どもたちにこういう学びの場が提供できるというWin Win的な関係でやっておられると思います。例えば下種もやっておられます。

竹信委員 まあ下種は単独でやっているんですけども、その共催にするメリットが一体何なのか。うちも子どもが20人くらい親も来るんですよ。で中前先生は「下種はたくさん保護者が来られていいところですね」といつも今年も言われたんですけども。一生懸命親も来るので。

事務局 多分米里的に、単独でやると子どもも数が少なかったり揃わなくなっているんで、多分その中で困られて相談されたんじゃないかと思いますけど。

竹信委員 そうですか、お金は出ないんですね。

岡崎委員 だから公民館もお金は出さないし、共催で事業もして「こういうことをやりました。参加者はこうでした」と公民館も言えるので。ほんとにそれでWin Winの関係でいい事業です。

竹信委員 うちはこれプラス魚つかみするんです。それは別途お金がかかる、保全会では出ません。はい、わかりました。

教育長 そのほかよろしいでしょうか。
行政報告はこれで終わります。
4 議案に移ります。
議案第39号 北栄町地域で子どもを育てる体験活動支援補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
(資料にて説明)

事務局 説明が終わりました。皆さんより何か質問はございますか。(なし)

教育長 議案第39号 北栄町地域で子どもを育てる体験活動支援補助金交付要綱の一部を改正する要綱の制定について
承認でよろしいでしょうか(承認)
議案第40号 人権擁護委員の候補者推薦に係る意見を求めることについて
(資料にて説明)

事務局 説明が終わりました。皆さんより何か質問はございますか。(なし)

教育長 議案第40号 人権擁護委員の候補者推薦に係る意見を求めることについて
承認でよろしいでしょうか(承認)
5 協議事項へ入ります。
令和6年度全国学力・学習状況調査の結果公表等について
(資料にて説明)

事務局 説明が終わりました。ご意見等ありませんか。(なし)

教育長 続いて、
令和6年度教育委員視察研修について
(資料にて説明)

事務局 説明が終わりました。ご意見等ありませんか。

岡崎委員 これは岡山か益田かどっちかですよ。

事務局 ですね、遠いので両方は無理ですねえ。どちらかをメインにさせていただいて、近くのところでもう一か所くらいかなーとは思っています。ですのでもし、必ず勉強したいテーマがあるの分からないですけども、こんなことを勉強したいなという話があれば近くにそんなところがないかまた事務局の方で探させていただきますし、ご意見がないということであれば、こちらの方で勝手

ですけど決めさせていただき、日程を組ませていただこうと思います。今のところ距離的なことも含めて浅口市の方を先に行ってみようかなと思っていますところです。

竹信委員 益田の方はなんとなくまだよく分からないですねこれだけでは。調べてくればよかったんですが。浅口市の方はこういうことをやっているんだなと分かるんですが。益田の方は「授業に関わる協議に地域の方も参加することで〜…」ま、その地域のことを教材として扱いながらそれを授業でやりながら、あとでかどうか一緒になって採択されるのかイメージがちょっと、具体的に分からないですね。

徳岡委員 浅口市のほうが分かりやすいですね。

教育長 いま言われたあとに、学校業務の棚卸のときにこの前も私業務改善のことも結構話題にしたので、地域と一緒にやってそういうことを進めておられるという、結構特徴があることで挙げてみたということです。私もよく分からんですけどコミスク界限では有名みたいです。

事務局 一先ずいいですか、これで進めさせていただいて。（意見なし）

はい、では進めさせていただこうと思います。

教育長 では今年はコミュニティスクールをテーマに。17ページの過去のを見ると、県外に行く前か後かに県内のところに寄ったりもしたこともあるようですね。去年のスペシャルサポートルームの視察がすぐに反映されとるかって、この視察も大事だなと思っています。

6の報告に入ります。

報告事項なし

7 その他

皆さんからその他ありますか。

事務局 議案第40号についてよろしいでしょうか。

先ほど「承認」ということでしていただいたのですが、承認ではなく「意見を求めること」については「適任でよろしいか」のようですので、もう一度教育長確認していただいていいでしょうか。

教育長 はい、では議案第40号につきまして、提案のある方の推薦をということにつきまして、適任ということよろしいでしょうか。（適任）

はい、では教育委員会としては適任であるということでございました。

ありがとうございます。

その他のことありますか。

日程決めに移ります。

事務局 次回の日程は、第8回定例会 8月27日（火曜日）午後1時30分から

すみません、その他についてもう一点よろしいでしょうか。

8月9日に「全国施設分離型義務教育学校の集い in 江府町」というのがあります。こちらの方に行ってみたいなという委員さんの声もありましたので、もし行かれるのであれば乗り合わせて行っていただければということ、教育委員さんの業務として行っていただいたら事務局では思っております。急な話なんですけど、行かれる予定にされている方ありますかということ、行きたい方ありますかということなのですが。

教育長 私はもともと行く予定で申し込みました。

事務局 申込みは事務局からさせていただきますので。

教育長 分離型義務教育学校では、中学校と小学校が分かれてやっているのを1個の義務教育化で行うという。最初は関係ないかなと、状況も環境も違うしで。だけどうちも考えてみると1小1中だから…なんか活かせる方もあるかもしれんなど、小中一体化になったところを。

事務局 会場としましては江府町の奥大山江府学園日野川校舎多目的ホールです。内容としましては分離型義務教育学校の可能性という仮題で鳥取大学名誉教授の本名俊正さんの講演と、奥大山江府学園の生徒の発表、取り組みの発表、鳥取市立鹿野学園の取り組みの発表、京都市立東山泉小中学校の取り組みの発表があって、そのあとにパネルディスカッションがあるという形です。1時からの開始で終了が4時50分というようなものですので、帰って来られたら5時過ぎるかなというようなところです。

徳岡委員 これはいつまでに、ここで返事ですか。

事務局 返事については申込みが8月2日金曜日ですので、木曜日くらいに行きたい方については奥田の方に返事をいただけたらと思います。行かれない場合のお返事はいいです。では岡崎委員・津島委員・教育長が行かれるということ。

徳岡委員 これは乗せていってもらえる？

事務局 その辺、乗り合わせで行くのか乗せて行くのがいいのか。

徳岡委員 役場の方で集まって乗せていってあげるよなら考えてもいいかなと思って。

事務局 今のところは教育長に頼むかなというところですが調整中です。車を出した場合の交通費も考えます。出発時間等についてもお知らせします

竹信委員 ちなみにこれはね、文科省が薦めようとしている取り組みという捉えですか。

教育長 聞くと、江府町が声掛けで集めて文科にも声をしたという感じでできていますね。

竹信委員 鳥大がなぜ関わっているか分からなくて。本名先生が講演をされるというのは、まあパネルコーディネーターということ…かな。

教育長 はい、では以上です。

ありがとうございました。

以上で第7回教育委員会定例会を終了します。

午後2時49分

令和 年 月 日

会議録署名委員

会議録署名委員